

平成 2 9 年度下半期 モーターボート競走事業業務状況

平成 2 9 年度下半期の事業の概況

平成 2 9 年度下半期の経理の概況

附表

平成 3 0 年度予算の概況及び事業の経営方針

平成 3 0 年 5 月 3 1 日

目 次

平成 2 9 年度下半期の事業の概況

1	業務量.....	1
2	経理の状況.....	1

平成 2 9 年度下半期の経理の概況

1	予算執行状況.....	2
2	損益計算書.....	3
3	貸借対照表.....	4

附表

1	固定資産明細書.....	6
---	--------------	---

平成 3 0 年度予算の概況及び事業の経営方針

1	予算実施計画.....	8
2	事業の経営方針.....	9

平成29年度下半期の事業の概況

1 業務量

モーターボート競走事業の下半期の開催日数は87日で、1日平均舟券売上金額は336,527,436円(前年同期比23.9%増)、1日平均返還金額は4,742,117円(前年同期比56.8%増)となっています。

1日平均有料入場人員は1,914人(前年同期比9.4%増)となっています。

なお、SG第64回ボートレースダービー(全日本選手権競走)を10月に、G開設63周年記念競走を1月に開催しました。また、下半期全体で入場料無料での開催が合計10日ありました。

場間場外発売は、平和島スタンドで延べ177日、平和島劇場で延べ1,957日、ボートピア河辺で延べ1,251日、ボートピア横浜で延べ1,291日、ミニボートピア黒石で延べ820日、オラレ上越で延べ861日、オラレ刈羽で延べ1,163日行いました。

2 経理の状況

収益的収入の執行済額は59,476,308千円(執行率100.0%)、収益的支出の執行済額は57,910,609千円(執行率99.0%)となっています。

資本的収入の執行済額は9,050千円(執行率98.6%)、資本的支出の執行済額は1,428,812千円(執行率99.9%)となっています。

営業利益は2,362,841千円、経常利益は1,554,950千円、特別損益を含む当年度純利益は1,553,527千円となっています。

平成29年度下半期の経理の概況

1 予算執行状況

(1) 収益的収入及び支出

収入

科 目	予算現額 (千円)	執行済額 (千円)	執行率 (%)
1 競走事業収益	59,460,715	59,476,308	100.0
1 営業収益	59,397,128	59,412,721	100.0
2 営業外収益	62,671	62,671	100.0
3 特別利益	916	916	100.0

支出

科 目	予算現額 (千円)	執行済額 (千円)	執行率 (%)
1 競走事業費用	58,475,651	57,910,609	99.0
1 営業費用	58,465,937	57,903,450	99.0
2 営業外費用	7,260	4,706	64.8
3 特別損失	2,454	2,453	99.9

(2) 資本的収入及び支出

収入

科 目	予算現額 (千円)	執行済額 (千円)	執行率 (%)
1 資本的収入	9,180	9,050	98.6

支出

科 目	予算現額 (千円)	執行済額 (千円)	執行率 (%)
1 資本的支出	1,430,181	1,428,812	99.9
1 建設改良費	228,181	226,812	99.4
2 投資	2,000	2,000	100.0
3 利益剰余金繰出金	1,200,000	1,200,000	100.0

各区分の金額は、千円未満を四捨五入しています

平成 29 年度 損益計算書

(平成 29 年 4 月 1 日から平成 30 年 3 月 31 日まで)

(単位：円)

1	営業収益			
	(1) 開催収益	52,379,819,200		
	(2) 場間場外発売事務受託収益	6,668,541,284		
	(3) その他営業収益	<u>356,390,373</u>	59,404,750,857	
2	営業費用			
	(1) 開催費	51,426,211,872		
	(2) 場間場外発売事務受託費	5,185,199,626		
	(3) 管理費	209,777,842		
	(4) 減価償却費	187,209,511		
	(5) 資産減耗費	<u>33,511,087</u>	<u>57,041,909,938</u>	
	営業利益			2,362,840,919
3	営業外収益			
	(1) 受取利息及び配当金	1,903,102		
	(2) 長期前受金戻入	60,768,312		
	(3) 雑収益	<u>166</u>	62,671,580	
4	営業外費用			
	(1) 支払利息	2,437,523		
	(2) 雑支出	<u>868,124,683</u>	<u>870,562,206</u>	<u>807,890,626</u>
	経常利益			1,554,950,293
5	特別利益			
	(1) 過年度損益修正益	<u>848,485</u>	848,485	
6	特別損失			
	(1) 過年度損益修正損	<u>2,271,658</u>	<u>2,271,658</u>	<u>1,423,173</u>
	当年度純利益			1,553,527,120
	前年度繰越利益剰余金			384,635,720
	その他未処分利益剰余金変動額			<u>9,050,400</u>
	当年度未処分利益剰余金			<u><u>1,947,213,240</u></u>

平成29年度 貸借対照表

(平成30年3月31日)

(単位：円)

資産の部

1	固定資産			
	(1) 有形固定資産			
	イ 土地		3,242,246,476	
	ロ 建物	367,105,023		
	減価償却累計額	<u>278,121,125</u>	88,983,898	
	ハ 建物付属設備	61,822,810		
	減価償却累計額	<u>3,960,591</u>	57,862,219	
	ニ 構築物	27,744,630		
	減価償却累計額	<u>3,562,656</u>	24,181,974	
	ホ 機械及び装置	88,054,749		
	減価償却累計額	<u>15,320,509</u>	72,734,240	
	ヘ 車両運搬具	0		
	減価償却累計額	<u>0</u>	0	
	ト 工具器具及び備品	541,201,006		
	減価償却累計額	<u>243,810,144</u>	297,390,862	
	チ リース資産	902,267,062		
	減価償却累計額	<u>162,044,398</u>	740,222,664	
	リ 建設仮勘定		<u>8,380,000</u>	
	有形固定資産合計			4,532,002,333
	(2) 無形固定資産			
	イ ソフトウェア		2,426,372	
	ロ リース資産		<u>776,289</u>	
	無形固定資産合計			3,202,661
	(3) 投資その他の資産			
	イ 基金		2,998,949,600	
	投資その他の資産合計			<u>2,998,949,600</u>
	固定資産合計			7,534,154,594
2	流動資産			
	(1) 現金預金		2,445,301,532	
	(2) 開催資金		461,870,000	
	(3) 未収金		148,332,020	
	(4) 繰出金		<u>1,200,000,000</u>	
	流動資産合計			<u>4,255,503,552</u>
	資産合計			<u><u>11,789,658,146</u></u>

負債の部

3 固定負債		
(1) リース債務	<u>316,566,000</u>	
固定負債合計		316,566,000
4 流動負債		
(1) リース債務	178,187,331	
(2) 未払金	1,273,221,414	
(3) 前受金	7,107,120	
(4) 引当金	8,211,000	
(5) 預り金	<u>322,582,525</u>	
流動負債合計		1,789,309,390
5 繰延収益		
(1) 長期前受金	446,930,350	
(2) 長期前受金収益化累計額	<u>174,632,318</u>	
繰延収益合計		<u>272,298,032</u>
負債合計		<u><u>2,378,173,422</u></u>

資本の部

6 資本金		<u>4,467,321,884</u>
7 剰余金		
(1) 資本剰余金		0
(2) 利益剰余金		
イ 利益積立金	1,502,000,000	
ロ 建設改良積立金	1,494,949,600	
ハ 当年度未処分利益剰余金	<u>1,947,213,240</u>	
利益剰余金合計		<u>4,944,162,840</u>
剰余金合計		<u>4,944,162,840</u>
資本合計		<u>9,411,484,724</u>
負債資本合計		<u><u>11,789,658,146</u></u>

附表

1 固定資産明細書

(1) 有形固定資産

(単位:円)

資産の種類	年度当初現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末現在高
土地	3,242,246,476	0	0	3,242,246,476
建物	367,105,023	0	0	367,105,023
建物附属設備	61,822,810	0	0	61,822,810
構築物	27,744,630	0	0	27,744,630
機械及び装置	88,131,618	0	76,869	88,054,749
車両運搬具	178,273	0	178,273	0
工具器具備品	404,066,584	201,912,332	64,777,910	541,201,006
リース資産	960,414,594	139,000,000	197,147,532	902,267,062
建設仮勘定	0	8,380,000	0	8,380,000
計	5,151,710,008	349,292,332	262,180,584	5,238,821,756

資産の種類	減価償却累計額			年度末償却 未済高
	当年度増加額	当年度減少額	累計	
土地	0	0	0	3,242,246,476
建物	16,689,827	0	278,121,125	88,983,898
建物附属設備	1,731,197	0	3,960,591	57,862,219
構築物	1,187,552	0	3,562,656	24,181,974
機械及び装置	9,914,392	0	15,320,509	72,734,240
車両運搬具	0	0	0	0
工具器具備品	126,893,693	31,521,965	243,810,144	297,390,862
リース資産	98,728,396	70,172,370	162,044,398	740,222,664
建設仮勘定	0	0	0	8,380,000
計	255,145,057	101,694,335	706,819,423	4,532,002,333

(2) 無形固定資産

(単位:円)

資産の種類	年度当初 現在高	当年度 増加額	当年度 減少額	当年度 減価償却額	年度末 現在高
ソフトウェア	3,509,058	87,000	0	1,169,686	2,426,372
リース資産	1,930,427	0	87,000	1,067,138	776,289
計	5,439,485	87,000	87,000	2,236,824	3,202,661

(3) 投資

(単位:円)

資産の種類	年度当初 現在高	当年度増加額	当年度減少額	年度末 現在高
基金	3,006,000,000	2,000,000	9,050,400	2,998,949,600
計	3,006,000,000	2,000,000	9,050,400	2,998,949,600

平成30年度予算の概況及び事業の経営方針

1 予算実施計画

(1) 収益的収入及び支出

収入

款 項 目	予定額 (千円)
1 競走事業収益	63,598,069
1 営業収益	63,556,312
1 開催収益	56,235,660
2 場間場外発売事務受託収益	6,937,735
3 その他営業収益	382,917
2 営業外収益	41,757
2 受取利息及び配当金	1,225
3 長期前受金戻入	40,532

支出

款 項 目	予定額 (千円)
1 競走事業費用	62,134,106
1 営業費用	62,126,715
1 開催費	55,818,177
2 場間場外発売事務受託費	5,903,464
3 管理費 (総係費)	238,642
4 減価償却費	164,712
5 資産減耗費	1,720
2 営業外費用	7,391
1 支払利息	4,391
2 消費税	3,000

(2) 資本的収入及び支出

収入

款 項 目	予定額 (千円)
1 資本的収入	35,000
1 基金繰入金	35,000
1 基金繰入金	35,000

支出

款 項 目		予定額 (千円)
1	資本的支出	1,567,660
1	建設改良費	265,660
	1 施設整備費	35,000
	2 資産購入費	25,162
	3 リース債務支払費	205,498
2	投資	2,000
	1 基金造成費	2,000
3	利益剰余金繰出金	1,300,000
	1 他会計繰出金	1,300,000

2 事業の経営方針

平和島本場を活性化するとともに電話投票や場間場外発売による平和島レース全体の売上げ向上を図っていく。また、平和島本場や平和島劇場、ポートピアなどを活用した他場レースの発売も併せて推進することにより、事業の至上命題である持続的な収益を確保し、市会計への繰出しができるよう、次の重点課題に取り組む。

なお、基金への積立てが平成27年度で目標額に到達したことから、当面は市会計への繰出しを優先していく。

- (1) 高グレードレースの誘致
- (2) 魅力あるレースの提供
- (3) 本場の活性化
- (4) 電話投票の売上げ向上
- (5) 場間場外発売の売上げ向上
- (6) ポートピア等の安定的な運営及び新規開設の検討